

## 教育研究業績概要

|  |                |  |  |   |
|--|----------------|--|--|---|
| 氏名 中井 三智子  |                |  |  |   |
| 研究分野   |                | 所属学会等の名称   |  |   |
| 基礎看護学、難病看護学  |                | 日本難病看護学会、日本難病医療ネットワーク学会  |  |   |
| 担当授業科目名 コミュニケーション論、生活援助技術論、看護体験実習                            |                |  |  |   |
| 教育上の能力に関する事項   |                |  |  |   |
| 事項   | 年              | 概要   |  |   |
| 1 教育の実践例、教育に関する評価等<br>授業で工夫している点                             | 2014           | 看護は科学的根拠をもとに実践する能力が求められるため、グループワーク、ロールプレイなどの演習を活用し、実践能力を伸ばすとともに、自己洞察を深める機会を作る。 |  |   |
| 2 作成した教科書、教材、指導書等  |                |  |  |   |
| 3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等                                      |                |  |  |   |
| 職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項                                 |                |  |  |   |
| 事項   | 年              | 概要   |  |   |
| 1 資格、免許、特許、受賞等<br>教員免許                                       | 1986           | 高等学校看護教員、養護教諭、保健（中学校・高等学校）<br>任命権者：徳島県教育委員会                                    |  |   |
| 看護師免許  | 1986           | 任命権者：厚生労働大臣  |  |   |
| 2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等<br>三重県難病医療連絡協議会 委員<br>難病医療専門員        | 2003～現在        | 難病患者の地域療養支援体制構築のための医療連携を推進することを目的とする協議会である。                                    |  |   |
| 日本難病医療ネットワーク学会 理事・評議員  | 2013～現在        | 難病医療及びケア態勢の向上を図るため職種・所属の枠を超えたネットワークを構築する。                                      |  |   |
| 研究業績等に関する事項  |                |  |  |   |
| 著書名、報告書名等  | 単・共著の別         | 発行年  | 発行所等の名称  | 著者名・ページ数等   |
| (著書)<br>・難病医療専門員による難病患者のための難病相談ガイドブック                        | 共著             | 2008   | 九州大学出版   | 第5章 ALS に特有な対応の難しい医療相談とその対応 p51-65<br>著者名：中井三智子、成田有吾                |
| ・難病医療専門員による難病患者のための難病相談ガイドブック改訂2版                            | 共著             | 2011   | 九州大学出版   | 第5章 ALS に特有な対応の難しい医療相談とその対応 p51-65                                  |
| ・CLINICAL REHABILITATION 別冊「神経難病疾患のリハビリテーション ―ケーススタディを通して学ぶ」 | 共著             | 2012   | CLINICAL REHABILITATIO 別冊  | 著者名：中井三智子、成田有吾<br>神経難病の福祉サービス p48-56<br>著者名：成田有吾、鈴木志保子、中井三智子        |
| (報告書等)<br>・ケアの継続性(Continuity of care)の視点による難病コーディネーターの役割分析   | 共著<br>共著<br>共著 | 2013<br>2014<br>2014   | 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 希少性難治性疾患患者に関する医療のあり方及び患者支援のあり方に関する研究報告書 | 岩木三保、中井三智子、吉良潤一<br>他2名<br>岩木三保、中井三智子、吉良潤一<br>他2名<br>中井三智子、富本秀和、成田有吾 |

| 学術論文<br>学会発表等の題名   | 発表者名   | 発表誌名・巻・ページ・発表年等<br>学会名・発表年・開催都市名等   |
|--|--|---|
| (学術論文)<br>・携帯電話映像通信機能を用いた神経難病患者の在宅療養支援の試み—映像通信の質の検討—<br>・携帯電話映像通信機能を用いた神経難病患者の在宅療養支援の試み(第2報) 受診する医療職側の感じ方と通信機能<br>・筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者に対する難病医療専門員の支援に関する後方視的検討: internal conflict の視点からの分析  | 中井三智子、成田有吾、杉下知子、<br>他2名<br>中井三智子、成田有吾、杉下知子、<br>他2名<br>中井三智子    | 日本遠隔医療学会雑誌 第2巻第2号<br>p94-97<br>日本遠隔医療学会雑誌 第3巻第2号<br>p84-87<br>日本難病看護学会誌 第17巻 第3項<br>P229-241  |
| (学会発表等)<br>・ Current status of Coordinators for Patients with Intractable Diseases in Japan<br>・ 「介護職員等による痰の吸引等の実施」制度改正後の三重県における ALS 患者の療養状況調査<br>・ The role analysis of the coordinators for patients with intractable diseases in Japan from the point of view of continuity of care | 岩木三保、中井三智子、吉良潤一<br>他2名<br>中井三智子、成田有吾<br>岩木三保、中井三智子、吉良潤一<br>他3名 | 23th International symposium on<br>ALS/MND, 201, シカゴ<br>日本難病看護学会, 2013, 東京<br>24th International symposium on<br>ALS/MND, 2013, ミラノ |
| (その他)<br>パネルディスカッション「難病患者と家族への支援のあり方をめぐって」   | 堀田みゆき、岩木三保、中井三智子   | 福岡県重症神経難病ネットワーク・西澤班分科会 I 合同研修会 難病医療シンポジウム, 2014, 福岡市  |